

花々



都城市立姫城中学校だより 10月号
令和6年10月18日(金) 文責:校長 島壽善真理

ようやく秋の空気に入れ替わり、彼岸花が一斉に茎を伸ばし、燃え立つような赤い花を咲かせていました。自然の嗅覚には驚かされます。この時期、気温の変化が大きく、体調を崩しがちです。今年は猛暑が続いただけに、特にご注意ください。

さて、ここからは、先月下旬から今月中旬までの学校行事を振り返ります。

<地区中学校秋季体育大会推戴式！>



参観者に感動を与え、自分自身も成長できた体育大会。続いていい経験ができる中体連大会。生徒会スローガン「輝笑転結」のもと、校訓である「礼を正し 場を清め 時を守る」とフェアプレイの精神を忘れず、たとえ強豪校と対戦しても、姫城中の意地を見せて欲しいとエールを送りました。また、生徒代表激励の言葉を3年生の久保田君が、選手宣誓を2年生の木野内君が、応援歌を3年生の庭田君と原田君が力強く行ってくれました。姫城中全体が思いを一つにできた推戴式でした。

<都北地区中学校英語暗唱・弁論大会開催！>

暗唱の部で3年生の谷口さんと堀之内さんが、弁論の部で同じく3年生の榎木君が、これまでの練習の成果を存分に発揮してくれました。ゼスチャーを交え、堂々と聴衆の前で英語で表現する姿は、頼もしい限りでした。惜しくも入賞は逃したものの、将来に生きる大変いい経験をしたと思います。今後には是非生かしてください。



<2年生ジュニアICTリーダー養成プログラム体験！>

Google for Educationの講師3名による出前授業。自己紹介スライドの作成と発表で、参考になるアドバイスが多く、充実した時間となりました。



<中体連秋季大会～あきらめない姿に感動～>

先述の推戴式で学校全体からの応援を背に、各部活動が初陣に臨みました。厳しい闘いが続きましたが、最後まで粘り強く闘う姿には感動を覚えました。今回の素晴らしい経験を糧に、人間的に一段と成長した姿で、県大会や来年の夏に向かって、新たな気持ちで臨んで欲しいと思います。いくつかの場面を振り返ります。



結果、県大会出場をつかんだ団体・個人は次の通り。おめでとう！県レベルでどんな活躍を見せてくれるか楽しみです。

団体ではサッカー部が準優勝。女子バスケット部が3位。女子ソフトテニス部では、2年生の前田さん・中武さんペアがベスト16。男子卓球部は1年生の大村君がベスト4。2年生の園田君と1年生の久保田君がベスト8。女子卓球部は、2年生の東さんがベスト8。陸上部(男子)では、1年生が、家村君(3000m)・田中君(100mH)・西君(100mH)。2年生が、坂下君(1500m)・岡田君(走り幅跳び)・川崎君(100m)・沼君(走り幅跳び)が県大会出場。陸上部(女子)では、1年生が、福留さん(200m)・軸園さん(200m)・小山田さん(80mH)・武藤さん(80mH)。2年生が、下之堀さん(砲丸投げ)、嶽野さん(100mH)が個人種目での県大会出場となりました。加えて、男女ともリレー(400m)メンバー(各4名)が出場となります。また、一足先に県大会に出場した1年生の二見さんは、200m自由形で2位、100m平泳ぎで4位と素晴らしい成績を残しました。